

勤手番（一ヶ月皆勤二日一ヶ月分）ノ復活ノ意味ニ於  
テ臨時手番ヲ支給セラルベシト嘆願セシニ因ル

六 経 過

ノ 製作部従業員代表幕内彦四郎山田保造ノ兩名ハ五月二十  
二日事務所ニ於テ製作部主任内田武夫ニ面会ヲ求メ物價  
騰貴ノ折柄生活上困憊シ居ルヲ以テ昭和五年六月停止セ  
ラレタル皆勤手番等ノ復旧ヲ意味シ臨時手番ヲ支給セラ  
レ度 ト口頭ニテ嘆願セリ

内田主任ハ社長カ上海方面ニ旅行中ニ付且ノ歸京途相  
談ノ上善處スル旨回答セルニ依リ代表者ハ之レヲ諒トシ  
辭去セリ

2. 勞務主任仙波二郎ハ向來カ各職場ニ波及スルヲ憂慮シ博  
重協議中ナリトシ製作部主任内田ヨリ絶對的ニ他ノ職場  
ニ影響ナキニ依リ處置ヲ一任サレタレト申出アリ為メニ

會社側ハ内田主任ニ一任セリ

○ 内田主任ハ歩合支給及減業ハニ業ノ何レカニ依リ解決ス  
ヘク準備シ内交候レ

六月十八日午前九時ヨリ會社應接間ニ於テ

會社側 安川善一郎 池田吾平

従業員側 山田保造 幕内彦四郎 外二名

正式會見ニ 會社側ヨリ製作部常務工全員（七一）ニ對  
シ臨時手番トシテ一日金三十円ヲ支給臨時工ニ對シテ  
ハ考慮スル旨回答

本案ヲ繞リ兩者協議ノ結果従業員側モ本案ヲ承認シ圓滑  
解決セリ

右及申報候也